

平成 13 年 9 月 6 日

半田山北自治会緑地委員会

半田緑地は北は滝洞の南から松岳院に至る斜面緑地です。浜松市は静岡県の補助を受け、「半田緑地整備事業」として平成 11 年度から 3 年計画で半田緑地の整備を進めています。今年度はその最終年度に当たり、環状線南側に修景池等を造成することになっています。緑地委員会ではその計画に参画し、できる限り自然を残すという基本姿勢に則って、緑地の自然を生かしながら憩いの場となるべき池や散策路の設置等について浜松市公園建設課と意見交換をしています。これまでに緑地委員会・公園建設課・不二総合コンサルタントの三者でワークショップ「はんだ・コラボ」を 2 回開催し、具体的な計画を煮詰めています。9 月には請負業者と共に現地を歩きながら具体的な最終計画を立てる予定です。

修景池の計画



修景池は、現在アシの茂る湿地ですが、環状線南脇の湧水をせせらぎ状の水路で引き、出来る限り人工構造物に頼らない自然な池の再現を目指しています。また、池や周辺植物になるべく影響の無いような形で、池を巡る園路としての木道やベンチを置いた休息場所設置し、人との触れ合いも図ります。いつか水棲昆虫や魚が繁殖し、ホタルも戻ってくることを願っています。

散策路の計画

この半田緑地の斜面には以前田んぼがあり、台地の上下を結ぶ道もありました。われわれはこうした旧道を復活させ、緑地の自然を楽しむ場にしたいと考えました。緑地の南端には下瀧公園に登る道、エントランス広場から湿地を渡る木道の園路が浜松市によってすでに整備されています。これに加えて環状線南側に 2 本、北側に 1 本の道を計画しています。これら 3 本の道はいずれも林の中を抜ける山道です。できるだけ自然の姿を残すため、工事は坂道の階段など



最小限にします。入口部分はガードレールを外し、案内板を設置する予定です。周囲の植物には名札を付けます。湧水が作る小川にはサワガニが棲み、カワトンボが群れています。マムシもいますがこれも自然の生き物です。将来は自然観察会なども催したいと考えています。

将来の計画

現在は半田山北自治会の組織として緑地委員会が中心になって活動していますが、ゆくゆくは住民の方々、ひいては浜松市民を含んだ組織として活動の輪を広げて行きたいと考えています。とりあえず「半田緑地の会」という名称を考えています。現在クズの生い茂る荒れ地になっている部分は自然植生を回復するためシイなどの自然木を植樹したいと思っています。それらの樹木が林を形成するようになるまでは草刈りなどの手入れが必要かもしれません。そのために住民の皆様にも参加していただきたいと思えます。その節は御協力をお願いいたします。

活動内容につきましては、自治会回覧で「半田緑地ニュース」として随時御報告させていただきますが、同時にホームページを開設しましたので、インターネットを御利用いただける方はぜひ御覧になって、御意見などをお寄せください。(http://kitayabu.tripod.com/)